



H19 建道計第8号
平成19年 5月15日

国土交通省道路局長 様

仙台市長 梅原克彦



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

時下、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より仙台市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付 国道企第114号により依頼のありました、「今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見」に関しまして、別紙のとおりご回答申し上げます。

連絡先： 仙台市建設局道路部道路計画課

電話：022-214-8374（直通）

F A X：022-227-2614

E-mail: ken010110@city.sendai.jp

今後の道路政策や道路整備・管理についての意見（仙台市）

都市を取り巻く環境が急速に変化する中、仙台市では、地下鉄東西線着工などの大きなプロジェクトが動き出しています。こうした状況のもと、本市における都市づくりの目指すべき方向性を「仙台市都市ビジョン」として平成19年1月に策定しました。

また、道路の整備に関する基本方針として「仙台市総合道路整備計画」を作成しています。これらに基づきます、本市の道路施策に関する意見は下記のとおりです。

1. 道路施策の中で特に優先度の高い政策

(1) 広域交通ネットワーク強化のための道路整備

- ① 東北の発展に貢献し国際的な都市間競争に対応する、広域高速道路ネットワークの整備
- ② 本市の骨格交通網を形成する「3環状12放射状線道路」を中心とした幹線道路の整備

(2) 軌道系交通軸を中心とした機能集約型都市の形成のための道路整備

- ③ 地下鉄東西線開業時に必要な関連道路（導入路線・駅前広場・駐輪場）の整備
- ④ 総合交通体系である「アクセス30分構想」の実現に向け、「公共交通の総合的な戦略プラン」の推進（鉄道・バス等の整備、交通ソフト施策の推進等）に資する道路の整備

(3) 安全・安心な都市の実現のための道路整備

- ⑤ 全ての市民が安心して生活できる歩道整備やバリアフリー化などの交通安全施設の整備
- ⑥ 宮城県沖地震対策としての橋梁耐震補強や拡幅改良など緊急輸送道路の整備

(4) 質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成のための道路整備

- ⑦ 「杜の都」を世界に誇れるものとするため、美しさと品格のある景観・街並みの形成（植樹や電線類地中化など）
- ⑧ 道路空間の利活用と道路管理の充実

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべき施策

(1) 公共投資の厳選と効率化を図るための取り組み

- ① 市民意向の把握を行い、道路施策の将来像を共有し、市民と一体となった街づくりを推進
- ② スピードのある展開による事業効果の早期発現と、完成目標の公表
- ③ 市民意見を事業優先度の判断に反映し、費用対効果及び整備優先の明確化
- ④ 道路、橋梁等の大量更新時期に対処するため、更新時期の平準化とトータルコストの縮減を図る必要から、効率的な維持管理の実現と、道路の維持・管理への市民参画の推進

(2) 地方分権の進展、都市づくりにおける制度的枠組み変革への取り組み

- ⑤ 現行の枠組みを超えた事業費間の柔軟な組合せの実現
- ⑥ 地方独自の事業展開を進めるための財政的な支援拡大

3. 道路施策や道路の整備・管理全般について

道路は「都市の活動と市民生活を支える最も基礎的な社会資本であり、目指す街づくりを具体化させるツールである」との認識のもと、本市の都市計画道路の整備率が64%とまだまだ低い状況や、既存ストックの増加及び施設の更新・管理などを勘案するとき、道路整備に係る財源確保は大変重要な課題であると考えております。

「中期的な計画」の作成にあたりましては「真に必要な道路整備」への財源を十分確保していただくことを強く要望するとともに、本市においても整備の必要な事業について優先順位の精査を十分に行いながら、目指す都市ビジョンの実現に向けた事業への重点投資・整備を積極的に展開してまいりたいと考えております。